

ネパール大地震

宮原豊 (9組)

4月25日に発生したネパール大地震は、今日(29日)現在、死者5000人超の大きな被害をもたらしています。一昨年の上田高校関東同窓会総会で講演いただいた宮原巍さんは4月23日に帰国していたので、25日に発生した大地震のニュースは東京で知ったそうです。ホテル・エベレスト・ビューの宿泊客や従業員、カトマンズのスタッフ、ポカラに建設中の新しいホテルの工事関係者は全員が無事だと確認できたそうです。しかし、この事態に為すべきことは山ほどあると、大混乱の中ではあるけれども早々にネパールに戻るそうです。想像を絶する破壊の激しさから、内陸国であるが故にその復旧には一層の時日を要するのと思われれます。

話は変わりますが、先日ラジオで江戸時代も終わりに近い1847年に起こった善光寺地震のことを知りました。ご開帳の最中だったそうですが、活断層による大きな地震が長野盆地を襲い、善光寺や宿坊等が倒壊、町内も相当な被害で死者が沢山出て、その後の火災でさらに大きな被害がでたのだそうです。更に地理歴史学的に有名なのは、犀川が川中島の合流点の上の方で狭い谷間が山からの土石流で堰き止められ100メートルもの高さのダムが出来てしまい、それが何日か後に崩落し大洪水となり下流で大きな水害が発生したのだそうです。死者は7000人とも8000人とも言われているそうです。このことは長野市のHPの「善光寺地震をご存知ですか？」に紹介されています。

<http://www.city.nagano.nagano.jp/soshiki/kikibousai/2615.html>

今回のネパール大地震と善光寺地震は山岳地帯の地震としてよく似ています。津波はないのですが、山崩れやダムの決壊が心配です。今回も地震のあとの雪崩とともに氷河湖の決壊が心配です。これ以上被害が広がらないよう祈っています。

写真は長野市の南を流れる犀川です(しなの鉄道の鉄橋上から撮影)。あの山中にできたダム湖が決壊したのです。上高地を源流として山と山をぬって流れる犀川の水量は多く、流れが恐ろしいほど速いです。

<https://www.facebook.com/photo.php?fbid=799269793476719&set=pcb.799273743476324&type=1>

<https://www.facebook.com/photo.php?fbid=799269826810049&set=pcb.799273743476324&type=1>